

## パソコンの動きを早くする方法 (5P)

34期 堀居正治

### 1) スタートアップアプリのアンインストール (設定方法)

スタートアップアプリによって起動時に負荷がかかります。スタートアップアプリを削除すると良いでしょう。メモリーの容量の少ないPCは起動時にメモリーの容量を上回ってしまう事で動作に影響が出てしまいます。

### 2) 増えた常駐アプリ<プログラムのアンインストール (設定方法)

PCを買って色々なソフトを入れて行くとPCの動きが悪くなります。これは常駐プログラムと呼ばれ常に動くアプリやソフトがPCのメモリーやCPUを使っている為に起こります。自分では使っている意識が無くてもバックグラウンドで動いているものもありメモリー不足を招くケースがあります。

### 3) Windowsの視覚効果を無効にする (設定方法)

Windowsの基本機能としてアニメーションや陰影をウインドウに付ける視覚効果があります。見た目を良くするのですが、PCの動作に影響する場合があります。無効にすると見た目は悪くなりますが、高速化する事が出来る。

### 4) メモリーの交換、増設

メモリ不足が原因ならばメモリーの交換、増設をすれば良いですね！Youtubeなどの動画が以前はスペックの問題でスムーズに再生出来なかったのが滑らかに表示されたり、エクスプローラー等のブラウザを大量に開いても動作が遅くありません。

#### ・メモリーの空き容量の確認 (設定方法)

使用領域がどの程度を占めているか確認下さい。空き容量は最低で30%以上は必要です。

#### ・メモリーの使用状況の確認 (設定方法)

メモリーの使用容量が100%に近いほど動作が遅くなる。必ず確認しましょうね！

#### ・メモリーの増量方法

増設可能なメモリーの型番、容量、搭載済みのメモリー容量等を確認する。増設は正しく設置する為にもPC修理専門業者に任せましょう。後で立ち上がらなくては困りますので。

### 5) HDD、SSDから不要なファイルを削除 (設定方法)

・使用していないファイルやフォルダを削除 ・フォルダを圧縮 ・ディスククリーンアップを実行。 ・使用していないアプリケーションをアンインストール ・外部メディアにファイルを移動。 ・デスクトップに使用していないファイルやフォルダーがあれば削除等で空き容量を増やしましょう。写真や動画は外付け HDD,USB、クラウドストレージに移動する癖をつける。

## 6) 電源オプションを変更する

PCのパフォーマンスが制限されている事もある為、変更する事でPCを早く出来る。

- ・電源プランを「高パフォーマンス」にする（設定方法）

電源プランはバランス・高パフォーマンス・省電力の3つから選ぶ事が出来る。電力消費量は

- ・プロセッサの電源管理を100%にする（設定方法）

## 7) ウイルスチェックの実施・駆除

ウイルス感染によりPCが予期せぬ動きを起すケースがあります。ウイルスはいつ混入するか分かりませんよ。

## 8) ハードディスクの場合はSSDに変える

SSDは起動が早い、アプリの立ち上げのキビキビしている。データの断片化が無い（デフラグ）。高額なのが問題。

## 9) WindowsUpdateの実施

アップデートで遅くなってる原因が解消されるケースもあります。アップデートは時間がかかると思ってください。更新に失敗、中途半端になっても再トライで根気よく。アップデートしたら、一応確認して下さい。主なアップデートは機能更新、品質更新。それ以外もありますので、良く見てね！

## 10) パソコンの再起動を実施

PCの再起動はシステムの起動をやり直すことが出来ます。シャットダウンと再起動では終了時に保存されるデータが異なる為、トラブルが発生した際はシャットダウンでは無く再起動がおすすめです。

## 11) インターネット環境の改善

プロバイダーを変える事も有効な手段です。又、光回線に変える事で改善される事も多くあります。更にご自宅のwi-fiルーターを最新のものに変えましょう。スペックが3～5前に比べて良くなっています。